

\* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) \*



令和8年第11週 (3月9日～3月15日)

様々な感染症が流行しています

手洗い、咳エチケット、換気などの基本の感染対策をお願いします。

インフルエンザは減少傾向です

今週の報告数は22人となり、先週の34人からさらに減少しました。型別は、全例B型でした。豊肥管内の定点あたりの報告数は5.40人と、先週の5.60人からやや減少しました。型別は全例B型となっています。大分県全体の定点あたり報告数は12.09人となり、先週の14.28人から減少しました。流行発生警報の終息基準値まであと一息となっています。

春休み中の感染症対策にご協力ください

春休み中は、旅行や帰省など、色々な場所へ移動する機会が増える時期です。また、新しい学校や職場で人間関係が増えることで、人と接する機会も多くなります。こうした時期だからこそ、感染症が広がりやすくなるので注意が必要です。外出や旅行などを控える必要はありませんが、基本的な感染対策をして、楽しい春休みをお過ごしください。

現在、国内で麻しん(はしか)が例年よりも多く報告されています。令和8年3月11日時点では大分県での報告はありません。

麻しんはとても感染力が強く、空気感染、飛沫感染、接触感染で広がります。海外旅行先で感染して、帰国後に発症する場合や、国内でのイベントなど大勢が集まる場所での感染が起こる可能性があります。麻しんに対する最も有効な予防法は、あらかじめ予防接種で免疫を獲得しておくことです。定期予防接種(第1期:1歳児、第2期:小学校入学前の1年間)を受けましょう。

また、海外へ行く予定がある方は、厚生労働省のウェブサイトなどで、行き先の感染症の流行状況をご確認ください。その上で、出発前の予防接種や感染症対策についてご検討いただくことをお勧めいたします。

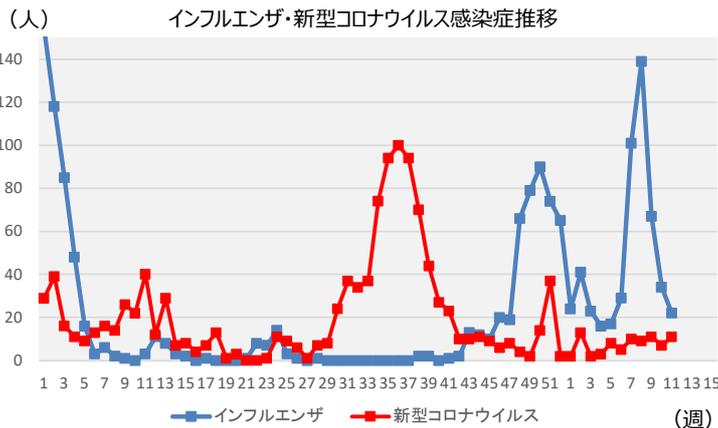


(第11週)

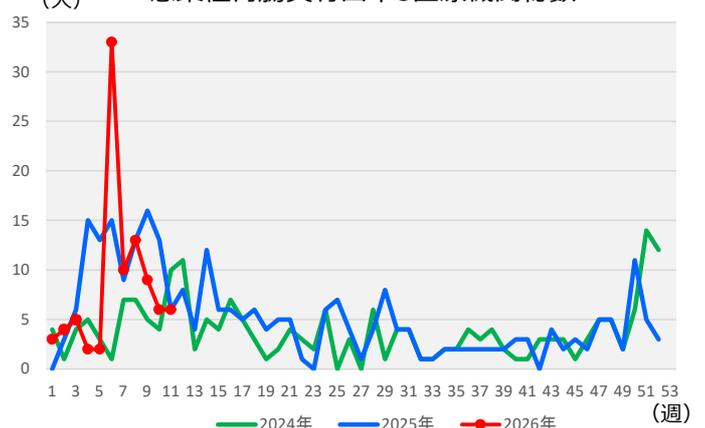
(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)	
	A型	B型	不明																	
0歳																				
1~3歳		1										2								
4~6歳		1					1													
7~9歳		3					1													
10~14歳		6					1													
15~19歳		5																		
20歳以上		6		11				6												
今週		22		11			3	6				2								
		22																		
70歳以上(再掲)				5																
先週		34		7				6												

2025-2026年 竹田地域  
インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症推移



(人) 感染性胃腸炎竹田市8医療機関総数



# 基本的な感染対策

## 感染予防に取り組もう！

1. 「体調おかしいな？」は休んで感染の拡大防止！
2. その場に応じて、マスクや咳エチケット！
3. 常時、または、こまめな換気！
4. 手洗いや手指消毒をしっかりと！



### 感染症対策

## ま 麻しん (はしか) に

ちゅうい  
ご注意ください

高熱  
せき  
鼻水

発しん

#### 症 状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったかぜのような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

#### 麻しんかな？と思ったら

医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

#### 感 染 経 路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

#### 予 防 方 法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。



海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

 厚生労働省

感染症対策課 2026年3月作成

